

○相模原市立さがみ湖リフレッシュセンター条例施行規則

平成18年3月19日

規則第35号

改正 平成20年3月27日規則第20号

平成29年10月2日規則第78号

令和2年3月31日規則第65号

(趣旨)

第1条 この規則は、相模原市立さがみ湖リフレッシュセンター条例(平成17年相模原市条例第93号。以下「条例」という。)の施行について必要な事項を定めるものとする。

(利用申請受付時間)

第2条 相模原市立さがみ湖リフレッシュセンター(以下「リフレッシュセンター」という。)の利用に係る申請の受付時間は、開所日の午前9時から午後5時までとする。ただし、利用当日における利用の承認を受けた時間(以下「承認時間」という。)の延長及び繰上げに係る受付にあつては、この限りでない。

(一部改正〔平成20年規則20号・29年78号〕)

(連続利用期間)

第3条 ふれあいルーム1、ふれあいルーム2又は研修室を専用して利用しようとするものは、同一の施設を引き続き3日を超えて利用することはできない。ただし、指定管理者が必要と認め、市長の承認を得たときは、この限りでない。

(利用日数の制限)

第4条 指定管理者は、リフレッシュセンターの利用の公平を図るため、必要があると認めるときは、市長の承認を得て、同一のものが1月以内にリフレッシュセンターを利用する日数を制限することができる。

(利用の申請)

第5条 条例第5条第1項の規定により利用の承認(条例別表第1号の表に規定する施設に限る。以下同じ。)を受けようとするもの(承認された事項の変更をしようとするものを除く。以下「利用申請者」という。)は、相模原市立さがみ湖リフレッシュセンター利用承認等申請書(以下「利用承認等申請書」という。)を指

定管理者に提出しなければならない。

2 指定管理者は、利用承認等申請書に必要な書類を添付させることができる。

3 利用承認等申請書は、利用申請者が、老人クラブ又は構成員の過半数が65歳以上の者の団体であるときは利用日の属する月の6月前の月の初日から、それ以外の団体であるときは利用日の属する月の2月前の月の初日からそれぞれ利用日の3日前までの期間内に提出しなければならない。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、この限りでない。

(1) 市が主催する行事等のために利用するとき。

(2) 指定管理者が条例第22条の規定により行う同条第7号の事業のために利用するとき。

(3) 前2号に掲げるもののほか、指定管理者が公用又は公共のため特に必要があると認め、市長の承認を得たとき。

(4) リフレッシュセンターの運営上支障がないと指定管理者が認めるとき(この項に定める受付期間後に限る。)。

4 前項に規定する期間の初日又は末日が休所日に当たるときは、その直後の開所日を当該期間の初日又は末日とする。

(一部改正〔平成20年規則20号〕)

(利用の承認等)

第6条 指定管理者は、前条第1項の規定により利用承認等申請書の提出があった場合において、その利用を、承認するときは相模原市立さがみ湖リフレッシュセンター利用承認等通知書により、承認しないときはその旨を利用申請者に通知するものとする。

2 前項の規定による利用の承認は、申請の順序により行い、申請が同時の場合は、協議又は抽選によりこれを決定するものとする。ただし、指定管理者が、公用又は公共のため特に必要があると認め、市長の承認を得たときは、この限りでない。

(一部改正〔平成29年規則78号〕)

(利用の取消し及び承認事項変更の手続)

第7条 条例第5条第1項の規定により利用の承認を受けたもの(以下「利用者」

という。)は、利用の取消し(利用日又は利用施設を変更する場合における従前の利用日又は利用施設の利用の取消し(承認時間の一部の取消しを含む。)を含む。以下同じ。)又は承認を受けた事項の変更(承認時間の延長及び繰上げを除く。以下「承認事項変更」という。)をしようとするときは、相模原市立さがみ湖リフレッシュセンター利用承認取消(変更)申請書を指定管理者に提出しなければならない。

- 2 指定管理者は、前項の規定による申請書の提出があった場合において、利用の取消し又は承認事項変更を、承認するときは相模原市立さがみ湖リフレッシュセンター利用承認取消(変更)決定通知書により、承認しないときはその旨を利用者に通知するものとする。この場合において、利用者は、承認事項変更の承認により既に納付した利用料金(以下「既納利用料金」という。)に不足を生じたときは、指定管理者に当該不足分を直ちに納付しなければならない。

(一部改正〔平成29年規則78号〕)

(承認時間)

第8条 承認時間には、準備又は後始末に要する時間を含むものとする。

(承認時間の延長等)

第9条 利用者は、やむを得ず承認時間を延長し、又は繰り上げて利用しようとするときは、承認時間終了又は承認時間開始の1時間前(午前9時からの承認時間の繰上げにあつては、30分前)までに相模原市立さがみ湖リフレッシュセンター利用時間延長等承認申請書を指定管理者に提出しなければならない。

- 2 指定管理者は、前項の規定による申請書の提出があった場合において、承認時間の延長又は繰上げを、承認するときは相模原市立さがみ湖リフレッシュセンター利用時間延長等承認通知書により、承認しないときはその旨を利用者に通知するものとする。

- 3 承認時間の延長及び繰上げは、1時間を限度とする。

(一部改正〔平成29年規則78号〕)

(利用料金の納付時期)

第10条 利用料金は、利用の承認を受ける際に納付しなければならない。ただし、指定管理者が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(利用料金の後納)

第 1 1 条 条例第 7 条第 3 項ただし書の規定により利用料金を後納とすることができ
る場合は、国又は地方公共団体が利用する場合その他指定管理者が特に必要が
あると認めた場合とする。この場合において、利用者は、指定管理者が指定する
期限までに利用料金を納付しなければならない。

(一部改正〔平成 2 9 年規則 7 8 号〕)

(利用料金の減免)

第 1 2 条 条例第 8 条の規定による利用料金の減額又は免除は、次の各号に掲げる
場合に、当該各号に定める率により行う。

(1) 構成員の過半数が 6 5 歳以上の者の団体(次号に掲げる団体を除く。)が利
用するとき。 5 0 パーセント

(2) 市内の地域自治振興、教育振興又は社会福祉振興に関する公益性が高いと
認められる活動を行うことを目的とする団体がその目的のために利用すると
き。 1 0 0 パーセント

(3) 指定管理者が条例第 2 2 条の規定により行う同条第 7 号の事業のため利用
するとき。 1 0 0 パーセント

(4) 前 3 号に掲げるもののほか、指定管理者が特に必要であると認めた場合
で、市長の承認を得たとき。 市長の承認を得て指定管理者が定める率

2 前項の規定により利用料金の減額又は免除を受けようとする利用者は、指定管
理者が別に定める方法により、指定管理者に減額又は免除の申請をするものとす
る。

(一部改正〔平成 2 0 年規則 2 0 号・2 9 年 7 8 号〕)

(利用料金の還付)

第 1 3 条 条例第 9 条ただし書の規定による既納利用料金の還付は、次の各号に掲
げる場合に、当該各号に定める率により行う。

(1) 災害その他利用者の責めによらない理由により利用できなかったとき。
既納利用料金の 1 0 0 パーセント

(2) 利用者が利用を開始する 3 0 日前までに利用の取消しの申請をし、指定管
理者の承認を受けたとき。 既納利用料金の 8 0 パーセント

- (3) 利用者が利用を開始する 7 日前までに利用の取消しの申請をし、指定管理者の承認を受けたとき。 既納利用料金の 50 パーセント
 - (4) 第 7 条第 2 項の規定により承認事項変更の承認を受け、既納利用料金が過納となったとき。 既納利用料金のうち過納額の 100 パーセント
 - (5) 指定管理者が特に必要があると認め、市長の承認を得たとき。 市長の承認を得て指定管理者が定める率
- 2 前項第 2 号及び第 3 号に規定する期限の末日が休所日に当たるときは、その直後の開所日を当該期限の末日とする。
- 3 前項の規定により既納利用料金の還付を受けようとする利用者は、指定管理者が別に定める方法により、指定管理者に還付の申請をするものとする。

(一部改正〔平成 29 年規則 78 号〕)

(販売行為等の許可)

- 第 14 条 条例第 14 条ただし書の規定により販売行為等の許可を受けようとするものは、相模原市立さがみ湖リフレッシュセンター販売行為等許可申請書を指定管理者に提出しなければならない。
- 2 指定管理者は、前項の規定による申請書の提出があった場合において、販売行為等を、許可するときは相模原市立さがみ湖リフレッシュセンター販売行為等許可決定通知書により、許可しないときはその旨を申請者に通知するものとする。

(一部改正〔平成 29 年規則 78 号〕)

(遵守事項)

- 第 15 条 利用者(利用目的に応じて入所した者を含む。)は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。
- (1) 承認された以外の施設、附属設備等を利用しないこと。
 - (2) 許可なく壁、柱、窓等に張り紙をし、又はくぎ類を打ち込まないこと。
 - (3) 許可なくリフレッシュセンターの器具等をリフレッシュセンター外へ持ち出さないこと。
 - (4) 指定場所以外の場所で喫煙をしないこと。
 - (5) 許可なく指定場所以外の場所で火気を使用しないこと。
 - (6) 許可なく危険若しくは不潔な物品又は動物(身体障害者が利用する場合に

において同伴する身体障害者補助犬法(平成14年法律第49号)第2条第1項に規定する身体障害者補助犬(同法第12条第1項に規定する表示をしたものに限る。)を除く。)を持ち込まないこと。

(7) 騒音、怒声等を発し、又は暴力を用いる等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。

(8) その他係員の指示に従うこと。

(一部改正〔平成29年規則78号・令和2年65号〕)

(職務上の入場)

第16条 利用者は、係員の職務上の入場を拒むことができない。

(一部改正〔平成29年規則78号〕)

(損傷等の届出)

第17条 リフレッシュセンターの建物、附属設備等を損傷し、又は滅失させた者は、直ちにその旨を指定管理者に届け出なければならない。

(一部改正〔平成29年規則78号〕)

(利用後の点検)

第18条 利用者は、リフレッシュセンターの利用を終了したときは、直ちにその旨を係員に告げ、点検を受けなければならない。

(一部改正〔平成29年規則78号〕)

(様式)

第19条 この規則の規定により使用する書類の様式は、別に定める。

(一部改正〔平成20年規則20号〕)

(委任)

第20条 この規則に定めるもののほか、リフレッシュセンターの管理運営について必要な事項は、別に定める。

(一部改正〔平成20年規則20号〕)

附 則

この規則は、平成18年3月20日から施行する。

附 則(平成20年3月27日規則第20号)

改正 平成29年10月2日規則第78号

(施行期日)

- 1 この規則は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

- 2 改正後の相模原市立さがみ湖リフレッシュセンター条例施行規則(以下「新規則」という。)第 12 条及び次項の規定は、平成 21 年 4 月 1 日以後に行う利用料金の減免について適用し、同日前に行う利用料金の減免については、なお従前の例による。
- 3 平成 30 年 9 月 30 日までの間における相模原市立さがみ湖リフレッシュセンターの利用料金の減免のうち新規則第 12 条第 1 項第 2 号及び第 3 号に規定する減免の率は、100 パーセントとする。

(一部改正〔平成 29 年規則 78 号〕)

附 則(平成 29 年 10 月 2 日規則第 78 号)

(施行期日)

- 1 この規則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

- 2 改正後の第 12 条の規定は、平成 30 年 10 月 1 日以後の利用に係る料金の減額又は免除について適用し、同日前の利用に係る料金の減額又は免除については、なお従前の例による。
- 3 この規則の施行の際現に改正前の相模原市立さがみ湖リフレッシュセンター条例施行規則の規定により定められた様式用の紙が残存するときは、当該用紙が残存する間、所要の修正をして使用することができる。

附 則(令和 2 年 3 月 31 日規則第 65 号)

この規則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。